

- 以前より、低圧における基本検針日と実検針日の関係性について、ご質問を頂戴していたところであり、各一般電気事業者の現状について下記のとおり整理した。

下記は2015年8月6日時点の情報です。  
最新情報は各一般送配電事業者のホームページを参照ください。

	検針日の設定日数(検針稼働日数)	検針稼働日(曜日)
北海道	日程(基本検針日)を01～23で設定。 基本検針日を基に、前月暦日数と当月実日数の差が±5日以内となるように割り当て。 検針稼働日数は19日(02,07,14,21を除く)。	平日および土曜日に実施(日曜日・祝日は実施しない)。
東北	日程(基本検針日)を01～23で設定。 原則、月初の平日から順に割り当て。ただし、稼働日が確保できれば空き日を設定。 検針稼働日数は17日(06,07,13,14,20,21を除く)。	原則として平日に実施。左記日数が確保できなければ土曜日・祝日を検針稼働日とすることがある。
東京	日程(基本検針日)を01～26で設定。 原則、月初の第二営業日から順に割り当て。 検針稼働日数は19日(05,06,07,13,14,20,21を除く)。	原則として平日に実施。稼働日数が不足となる場合は、休日(土曜日・日曜日・祝日。以下同じ。)を検針稼働日とすることがある。
中部	日程(基本検針日)を01～19で設定。 月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は17日(07,14を除く)。	原則として平日に実施。ただし、月内に休日が多い場合等は、休日を検針稼働日とすることがある。なお、8月15日は休日扱いとしており、原則稼働日として設定していない。
北陸	計算区(基本検針日)を02～25で設定。 月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は19日(07,08,14,15,21,22を除く)。	原則として平日に実施。ただし、月により土曜日を検針稼働日とすることがある。
関西	日程(基本検針日)を01～24で設定。 月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は18日(06,07,13,14,20,21を除く)。	原則として平日に実施。ただし、月内に休日が多い場合等は、休日を検針稼働日とすることがある。
中国	日程(基本検針日)を01～26で設定。 月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は20日(06,07,13,14,20,21を除く)。	原則として平日に実施。ただし、月内に休日が多い場合等は、休日を検針稼働日とすることがある。
四国	日程(基本検針日)を01～24で設定。 原則、月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は17日(02,08,09,15,16,22,23を除く)。	原則として平日に実施。ただし、月内に休日が多い場合等は、休日を検針稼働日とすることがある。
九州	日程(基本検針日)を01～21で設定。 基本検針日を基に、前月暦日数と当月実日数の差が±5日以内となるように割り当て。 検針稼働日数は18日(03,10,17を除く)。	原則として平日に実施。ただし、左記割当時に平日に検針稼働日が収まらない場合、土曜日を検針稼働日とすることがある。
沖縄	日程(基本検針日)を01～23で設定。 月初の平日から順に割り当て。 検針稼働日数は20日(5,12,19を除く)。	原則として平日および土曜日に実施(祝日を含む)。ただし、年末年始・こどもの日(5/5)・旧盆(旧暦7/15)・体育の日(10月第2月曜日)は非稼働。

## 【周知方法】

- 基本検針日と実検針日の年間(年度)カレンダー(※)については、各社ホームページによる周知や各小売電気事業者殿へのメールによる周知を検討中。
- なお、一部会社においては、非常変災(台風)により、やむを得ず年間(年度)カレンダーが変更となる可能性がある。

※ 一部会社においては、年間(年度)ではなく、半期単位での提供となる見込み。

## 【周知時期】

- 平成28年度の基本検針日と実検針日の年間(年度)カレンダーについては、平成28年1月からの「小売電気事業者の変更を希望する需要家からの受付開始など、事前手続きの開始」に間に合うよう、「平成27年12月末まで」には周知を行う予定。